

平成30年度 事業報告

平成30年度の国際経済情勢は、米中貿易摩擦問題など利己主義・覇権主義の見え隠れする主要各国リーダーの言動で波乱含みの展開となり、先行きへの懸念が強まる1年だった。

世界的景気減速が予測される一方で、国内の景気拡大期間は戦後最長に並んだと言われているが、残念なことに県内では、歯止めのかからない人口減少問題も影を落とし、それを実感することはむずかしい状況にある。

こうした景況感を払拭するがごとく、設立から25年目を迎える新潟経済同友会は、新潟開港150周年の記念すべき時に、全国経済同友会セミナーを主催した。

年度が替わったばかりの平成31年4月11日、12日の2日間にわたり開催されたが、企画構想・準備は3年以上前から取組んで来ており、その事業活動が結実した直近の一大イベントであったことから、平成30年度事業としてここで報告することとする。

本新潟大会は第32回目となり、全国44の経済同友会の経営者ら約1,300人の参加者を迎え、これまでの全国セミナーでも屈指の盛大な大会となった。

平成最後の大会として「新時代へのイノベーション～ポスト平成の成長戦略を描く～」を総合テーマに、2日間にわたり基調講演や分科会、特別講演を中心に開催された。参加者は、二つの講演会を通して日本のあるべき将来像についての知見を深め、新時代を展望した。また、四つの分科会では「産業変化への適応」「企業価値の向上」「人材育成」「地方創生」など平成から新時代への成長戦略について、自由闊達に熱い議論が交わされた。

初日の歓迎挨拶の中で、山本代表幹事は、現下の不安定な社会情勢に対して、経済人として何が出来るか。今こそ、国や地域のさらなる発展のため率先して「行動」を起こすべき時ではないかと力強く呼びかけた。

最終日には、経済同友会の小林喜光代表幹事は、今大会を振り返り「イノベーションの真の原動力となるのは経営者だ。経営者一人ひとりが健全な危機感を持ち、企業、業界を従来が発想にとらわれずに変革していくことが求められる」と強調し、白熱した分科会等を通し「前向きで洞察に富む議論だった」と総括した。

閉会挨拶では、当会の全国セミナー実行委員長を務めた吉田代表幹事が、本セミナー開催に尽力された故今井代表幹事への敬意と感謝を込めた追悼の辞を述べ、結びには、次期開催の土佐大会に向け、「大政奉還」を実現させた立役者の一人である「坂本龍馬」のように柔軟な発想による議論を展開し、本セミナーの輪を拡げていただきたいとのエールで締めくくった。

本セミナー終了後には、企画内容やもてなしに対して、全国各地から数多くの称賛と感謝の声が寄せられた。

【開催概要】

第32回全国経済同友会セミナー新潟大会

◇開催日：2019年4月11日（木）、12日（金）

◇会場：朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター

◇全体参加者：1,285人（新潟322人/県外963人）

（講師、非会員の分科会登壇者は含まず）

1. 総合テーマ
「新時代へのイノベーション～ポスト平成の成長戦略を描く～」
2. 基調講演 《参加者:1,226人(新潟298人/県外928人)》
落合 陽一氏 ピクシーダストテクノロジーズ(株)代表取締役社長
「令和を迎える多様性社会へ」
3. 分科会 《参加者:1,216人(新潟285人/県外931人)》
 - ・第1分科会 超スマート社会がもたらす恩恵
～次世代の産業変化への適応～
 - ・第2分科会 新時代のサステナブルマネジメント
～社会から選ばれ続ける企業であるために～
 - ・第3分科会 日本教育のパラダイムチェンジ
～ポスト平成の日本社会を支える人材育成～
 - ・第4分科会 モノ・コト・ヒトの交流が生み出すイノベーション
～ローカル to ローカルによる価値創造～
4. 懇親パーティー 《参加者:1,236人(新潟293人/県外943人)》
5. 特別講演 《参加者:988人(新潟191人/県外797人)》
宮田 亮平氏 文化庁長官
「ときめきのとき～文化とは～」

平成30年度は、14の委員会1つの研究会において、全国セミナー新潟大会をはじめ、視察、講演会、勉強会、シンポジウム、出前授業そして提言と、様々な活動を通して高い評価を得た成果とその存在感を残すことができた。

=本年度の提言=

新潟県の抱える諸課題の解決に向けた緊急提言として、3月22日花角新潟県知事に手交

- 地域委員会
～スマート農業の推進・複合経営の推進・県産農産物の消費拡大について～
- 成長戦略委員会
～AIやIoT等の最先端技術利活用の推進・高度人材の育成について～
- 観光推進委員会
～観光推進体制の整備・シビックプライドの醸成について～
- 起業家支援研究会
～起業支援拠点施設の設置・整備について～

新潟経済同友会の基本理念の一部には、『われわれは、高い志をもつ経済人で構成された政策提言集団として、個々の利害をはなれた立場で、幅広い先見的な視野から自由闊達な論議と相互啓発を行い、理想実現のために発言し、行動する』と謳われている。

新たな元号に替わる節目を控え、今一度原点を見つめながら、行動する政策提言集団として先見的で責任ある活動を実践して参りたい。

I. 委員会活動

1. 一般行政委員会

委員長 村山 政文 (株)村山土建・社長

新潟県の総合計画及びその見直しの動きについて概観した後、国土強靱化と絡めた地方創生について有識者から講演を頂き、新潟の目指すべき地方創生のあり方について議論を深めた。

【テーマ】地方創生に資する行政施策の研究

回	開催日	内 容
	7月26日	正副委員長会議
第1回	9月18日	(公開) 「県総合計画『にいがた未来創造プラン』と今後の計画見直し」 講師：佐野哲郎氏 新潟県知事政策局 総括政策監
第2回	12月12日	(公開) 「『日本経済再生』と『地方創生・国土強靱化』」 講師：藤井聡氏 京都大学大学院 教授・内閣官房参与

2. 地域委員会

委員長 金井 利郎 (金井度量衡株)・社長

農業を中心に据えた地方創生の実践や、今後更なる加速が期待されるスマート農業の取組事例等について有識者より講演を頂き、新潟における農業、また他産業も巻き込んだ生産性の向上について議論を深めた。

また、農業分野における取組を中心に、生産性向上に向けたスマート農業や園芸・畜産の推進、県産農産物の「地産他消」に向けたPR強化等について、新潟県への緊急提言を行った。

【テーマ】新潟地域の飛躍的生産性向上に向けて

回	開催日	内 容
第1回	6月18日	(公開) 「地方創生—私の失敗履歴」 講師：高野誠鮮氏 立正大学 客員教授
	9月5日	正副委員長会議
第2回	10月18日	(公開) 「ロボットAI・スマート農業とその先にあるもの」 講師：窪田新之助氏 農業ジャーナリスト
	1月8日	正副委員長会議
第3回	2月25日	書面会議 新潟県への緊急提言書の内容検討

3. 環境・健康委員会

委員長 大矢 和也 (社会保険労務士法人大矢社労士事務所・代表社員)

データヘルスの活用、自治体や事業所とのコラボヘルスなどの事例を参考に、健康経営の推進に向けて講演会を開催した。また、働き方改革関連法の施行を控え、法改正のポイントや健康経営への活かし方について講演会を開催した。

【テーマ】地域職域連携による企業価値の向上に資する AI・IoT を活用したヘルスケアの研究

回	開催日	内 容
	6月11日	正副委員長会議
第1回	7月31日	(公開) 【講演会】「健康づくりが経営に及ぼす効果について～健康経営の推進で会社を元気に～」 講師：辻一郎 氏 東北大学大学院医学系研究科 教授
	9月28日	正副委員長会議
第2回	11月21日	(公開) 「働き方改革～労働時間法制の見直し～」 講師：宇尾野秀明 氏 新潟労働局労働基準監督課 課長 「健康経営のための実務対応」 講師：大矢和也 氏 社会保険労務士法人大矢社労士事務所 代表社員
第3回	1月23日	(公開) 「働き方改革～雇用形態に関わらない公正な待遇の確保～」 講師：大瀧謙太 氏 新潟労働局雇用環境・均等室 雇用環境改善・均等推進監理官 「健康経営のための実務対応」 講師：大矢和也 氏 社会保険労務士法人大矢社労士事務所 代表社員

4. エネルギー委員会

委員長 野沢 慎吾 (セコム上信越㈱・会長)

エネルギー資源開発の現状や今後の展望、再生エネルギー社会に向けた課題と施策などについて研究を深めた。

【テーマ】エネルギーミックス、ゼロ・エミッション社会

回	開催日	内 容
第1回	6月25日	(公開) 「最近のエネルギー資源開発をめぐって」 講師：野崎茂 氏 新潟国際情報大学 学長
第2回	11月26日	(公開) 「再生可能性的視点から見た自動車・エネルギー産業」 講師：長谷川卓也 氏 日産自動車㈱総合研究所研究企画部 主任研究員

5. 企業経営委員会

委員長 北村 芳明 (株)雅裳苑・社長

外部環境の変化によって重要性の増しているコンプライアンス経営やブランディングについて、講演会を開催した。また、会員企業への視察を行い、普段触れることのできない知見を深めた。

【テーマ】 企業経営を巡る諸課題の研究

回	開催日	内 容
	8月7日	正副委員長会議
第1回	8月7日	(公開) 「コンプライアンス経営の推進に向けて」 講師：坂倉忠夫氏 公益社団法人消費者関連専門家会議 専務理事
第2回	8月8日	企業視察 佐藤食品工業(株)、ナミックス(株)
第3回	2月14日	(公開) 「価値共創時代のブランディング：消費者の「自発的な」参加行動をどう促すか？」 講師：伊藤龍史氏 新潟大学経済学部 准教授

6. 国際戦略委員会

委員長 宇尾野 隆 (株)ウオショク・社長

本年度の海外ミッションは、ロシア・サンクトペテルブルクを訪問した。視察では、国内情勢等について現地関係者からのブリーフィングを受けるとともに、トヨタ自動車の現地生産拠点や近年成長を続けている地元の食品加工企業等を視察し、今後のロシア経済の展望、新潟との連携の可能性等について活発に意見交換を行った。

また、新潟の経済人として人的・経済的な交流促進を目的に、新潟に駐在する中国、韓国、ロシアの三総領事館との懇談会を開催した。

【テーマ】 新潟の経済成長戦略を踏まえた拠点性の一層の確立

回	開催日	内 容
	5月16日	正副委員長会議
第1回	7月12日	(公開) 「ロシアの現状と日ロ関係、サンクトペテルブルク」 講師：クラコフ・ワシーリー氏 新潟県ロシア交流促進アドバイザー
	8月21日 ～8月25日	海外ミッション 行き先：ロシア・サンクトペテルブルク 訪問先：トヨタモーターマニュファクチャリングロシア、 サンクトペテルブルク日本センター、 JETRO サンクトペテルブルク事務所、YAMI YAMI など
	2月1日	正副委員長会議
第2回	2月1日	駐新潟3総領事館との交流新年会

7. 教育問題委員会

委員長 野口 一則 (株)シアンス・社長)

30年度は、定例の「5 経済同友会 教育担当委員会交流会」(富山市開催)に参加し、各同友会の活動報告、意見交換を行うとともに、10月には新潟第一高校の草間校長先生をお招きし、教員の働き方改革についてご講演をいただいた。

視察では、学術教育と職業教育を平行して行うドイツ発祥の教育システム「デュアルシステム」を取り入れている、糸魚川市の県立海洋高等学校及び(株)能水商店を訪問した。

また、昨年度に引き続き、新潟大学創生学部「フィールドスタディーズ(学外学修)」に協力し、会員企業6社が学生受け入れを行った。

出前授業は教職員向けの開催を含め、7回実施した。

【テーマ】次代を担う人財の育成を考える

回	開催日	内 容	
第1回	6月11日	(公開) 5 経済同友会 教育担当委員会交流会(富山市)	
	6月18日	正副委員長会議	
	6月26日～ 7月19日	新潟大学創生学部フィールドスタディーズ 学生受け入れ期間	
	7月18・19日	新潟大学創生学部フィールドスタディーズ成果発表会(各社にて)	
	7月31日	新潟大学創生学部フィールドスタディーズ成果発表会(大学内)	
	8月28日	新潟大学創生学部フィールドスタディーズ座談会	
	9月11日	正副委員長会議	
	第2回	10月22日	(公開) 「教員の働き方改革について」 講師：草間俊之氏(学)石善学園 新潟第一高等学校 学校長
		11月27日	(公開)視察 県立海洋高校、(株)能水商店
第3回	11月29日	(公開) 新潟大学創生学部フィールドスタディーズ成果発表会(会員向け)	
	3月12日	正副委員長会議	

《出前授業実施実績》 (講師敬称略)

回	開催日	講師	対象
第36回	5月18日	渡辺 敏彦	平成30年度新潟県高等学校副校長・教頭協会総会・研究協議会 教員160名
第37回	6月5日	阿部 尚義	新潟産業大学 学生72名
第38回	7月18日	阿部 尚義	新潟工科大学 学生109名、教職員4名
第39回	7月31日	本間 隆之	事業創造大学院大学 学生110名
第40回	8月3日	阿部 尚義	新潟産業大学 学生20名
第41回	11月28日	※右記	新潟大学附属新潟中学校 1年生120名 野口 一則、大竹 一雄、金井 利郎、中山 輝也、 野沢 慎吾、今井 誠、石橋 正利、金子 秀樹、 仙石 正和 (順不同)
第42回	11月30日	阿部 尚義	新潟産業大学 学生40名、教職員2名

8. 例会担当委員会

委員長 片桐 奈保美 (株)イシカワ・副社長)

委員会活動以外で、会員が一同に会する場として計4回の「例会」を開催し、交流を深めた。

回	開催日	内 容
	6月12日	第34回例会 「伝わる技術：力を引き出すコミュニケーション」 講師：木津広美氏 フクダハウジング(株) 代表取締役社長
第1回	7月5日	副委員長の増員について 今後の例会運営について
	9月11日	第35回例会 「スポーツマネジメントにおける理念の重要性」 講師：村山哲二氏 (株)ジャパン・ベースボール・マーケティング 代表取締役
	12月11日	第36回例会 「平成30年の日本企業を振り返る：日本の原理と神の隠す手を信じて」 講師：伊丹敬之氏 国際大学 学長
	3月12日	第37回例会 「永遠に終わらない会社をめざして」 講師：南雲二郎氏 八海醸造(株) 代表取締役社長

9. 会員交流委員会

委員長 富山 修一 (中央ビルディング(株)・会長)

主に新入会員・交替会員を対象に当会の活動内容について説明する「オリエンテーション」を実施したほか、会員交流懇親会として毎年恒例の「納涼会」及び「新潟の食を楽しむ会～晩秋の新潟・温石に和む～(忘年会)」を開催し、第32回全国経済同友会セミナー新潟大会の開催に向けて一層の会員増強と交流促進を図った。

【テーマ】会員増強と会員相互の交流促進

回	開催日	内 容
第1回	5月14日	諸行事(オリエンテーション、納涼会、新潟の食を楽しむ会)の内容と会員の参加促進について
	6月12日	第1回オリエンテーション 各委員会活動内容の紹介
	8月27日	納涼会 アトラクション：燕Pleasing Gospel Companyによる ゴスペルライブ
	11月7日	第2回オリエンテーション 各委員会活動状況の紹介
	11月7日	新潟の食を楽しむ会～晩秋の新潟・温石に和む～(忘年会) 「湊町新潟の繁栄と開港」 講師：伊東祐之氏 新潟市歴史博物館 館長

10. 広域交流委員会

委員長 榎熊 隆治 (株ゼルコバ・社長)

30年度は「東北・北海道ブロック会議」を当会主管にて長岡市で開催するとともに、「4 経済同友会交流会」では、近隣経済同友会(群馬・埼玉・栃木)と様々なテーマ・観点で意見交換や交流を行った。

また、全国各地の会議では、2019年4月11,12日当会主管「第32回全国経済同友会セミナー」をはじめ、当会活動についてPRした。

【テーマ】 県域を越えた経済同友会との交流を通し、「新潟の元気」を発信

回	開催日	内 容
第1回	7月11日	第42回経済同友会東北・北海道ブロック会議 打合せ
	7月19,20日	第42回経済同友会東北・北海道ブロック会議
第2回	9月21日	第5回4経済同友会交流会 新潟開催について
	10月4日	第4回4経済同友会交流会 (高崎市)
第3回	2月18日	第5回4経済同友会交流会 新潟開催について
	3月14日	正副委員長会議

11. 成長戦略委員会

委員長 木山 光 (木山産業(株)・社長)

起業家支援研究会

座長 木山 光 (木山産業(株)・社長)

10年後、20年後の社会を想像するため、第四次産業革命による産業構造・社会構造の変化やAIやIoTなどの最先端技術について、専門家を招いて知見を深めたほか、「アジアのシリコンバレー」と呼ばれる中国広東省の深圳への視察を実施し、世界から多くの投資を呼び込み急成長を続ける深圳のイノベーションの現状を体感した。

起業家支援研究会では、新潟県が新たに立ち上げた「起業家サポートネットワーク」への参画をはじめ、官民の連携のもと、起業マインドの醸成や起業家を輩出するための場の創出について、引き続き研究を深めた。

【テーマ】 成長戦略委員会：10年後、20年後の社会を想像し、新潟の成長について考える

起業家支援研究会：起業マインドを醸成するための場、起業家を輩出するための場の創出について考える

成長戦略委員会

回	開催日	内 容
	4月4日	正副委員長会議
第1回	4月4日	(公開・起業家支援研究会と共催) アメリカ視察報告会
第2回	6月27日	(公開) 「デジタルイノベーションの衝撃～注目の取り組みから課題と戦略を探る～」 講師：鈴木晃祥氏 (株)みずほ銀行産業調査部総括チーム 調査役
第3回	10月19日	(公開・起業家支援研究会と共催) 中国視察事前勉強会

		「中国産業イノベーションの現状－深圳で勃興する次世代産業－」 講師：藤代康一氏（株三井物産戦略研究所産業情報部産業調査第一室 研究員）
第4回	11月15日 ～18日	（起業家支援研究会と共催） 中国視察 訪問先：DJI、ギャラクシー・インキュベーター、盒馬鮮生、 中国ハイテクフェア、華強北
第5回	2月20日	書面会議 新潟県への緊急提言書の内容検討
第6回	3月1日	（公開・起業家支援研究会と共催） 中国視察報告会
	3月19日	正副委員長会議

起業家支援研究会

回	開催日	内 容
第1回	4月4日	（公開・成長戦略委員会と共催） ※詳細は上記第1回成長戦略委員会のとおり
第2回	6月15日	新潟県・新潟市の起業・創業支援事業の説明聴講、今年度の研究会活動の方向性について意見交換
第3回	10月19日	（公開・成長戦略委員会と共催） ※詳細は上記第3回成長戦略委員会のとおり
第4回	11月15日 ～18日	（公開・成長戦略委員会と共催） ※詳細は上記第4回成長戦略委員会のとおり
第5回	2月20日	書面会議 新潟県への緊急提言書の内容検討
第6回	3月1日 ～18日	（公開・成長戦略委員会と共催） ※詳細は上記第6回成長戦略委員会のとおり
	3月14日	正副座長会議

12. インフラ推進委員会

委員長 渡辺 敏彦 （学新潟総合学園・副理事長）

インフラ整備と利活用を通じた産業競争力強化、新潟の魅力向上に向けて、空港活性化に焦点を当て、現状や課題等について有識者によるシンポジウム、講演、パネルディスカッションを通じて、理解を深めた。

【テーマ】 鉄道・空港・港湾機能の連携による物流・人流、防災・救援機能、そして産業競争力の強化

回	開催日	内 容
	4月12日	正副委員長会議
第1回	5月20日	（公開） 「シンポジウム～航空機産業と新潟空港の活性化を考える～」 来 賓：漆原 良夫氏 前衆議院議員、弁護士 講師・パネリスト：櫻田 義孝氏 衆議院議員 ：新妻 秀規氏 参議院議員 ：益田 浩 氏 新潟県副知事 ：篠田 昭 氏 前新潟市長
	9月12日	正副委員長会議
	11月6日	正副委員長会議
第2回	1月24日	（公開） 「新潟空港の活性化に向けた県の取組」

		講師：水口 幸司 氏 新潟県交通政策局長 「空港コンセッションと各ステークホルダーの役割」 講師：加藤 圭一 氏 (株)三井住友銀行 成長産業クラスター 部長代理 「地方空港におけるコンセッションの現状及び新潟空港への示唆」 講師：高野 寛之 氏 (株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング 部門 都市・地域経営戦略グループ シニアマネージャー 「LCC 地域航空ネットワーク事業計画 (3 事業について)」 講師：長谷川政樹 氏 三菱航空機(株) 経営企画室 MRJ ホールディング担当
--	--	---

13. 観光推進委員会

委員長 高橋 秀之 (愛宕商事(株)・社長)

行政関係者や識者を招いた講演会では、新潟県観光の現状と課題を分析した。

また、インバウンド観光地として注目される山古志・湯沢エリアにて、地域の特色や資源を活かした観光推進や広域での連携体制について視察を行った。

【テーマ】インバウンド促進と交流人口拡大に向けた観光戦略を検討する

回	開催日	内 容
第1回	6月5日	(公開) 「新潟の観光動向と2030年観光未来需要予測」 講師：田中麻衣子 氏 (株)リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター エリアプロデューサー
第2回	7月6日 ～7日	(公開) 山古志・湯沢エリア視察 意見交換会 講師：田村正幸 氏 湯沢町長 講師：井口智裕 氏 (一社) 雪国観光圏 代表理事
	10月15日	正副委員長会議
第3回	11月15日	(公開) 「新潟県の観光推進について」 講師：権澤尚 氏 新潟県産業労働観光部観光局 観光局長
	2月7日	正副委員長会議
	3月22日	緊急提言書提出

14. 全国経済同友会セミナー実行委員会

委員長 吉田 至夫 (株)新潟クボタ・社長)

第32回全国経済同友会セミナー 新潟大会(2019年4月11・12日)にむけて、其々の役割分担を決めて準備を進めた。

併せて、全国から多数の参加者を募るため、沖縄・九州・西日本を中心に各同友会への訪問、ビデオメッセージの作成、各ブロック会議へ参加した際も積極的なPR活動を展開した。PR効果もあり、県外参加者が過去最多となり、新潟の魅力为全国へ発信する絶好の機会となった。

〈新潟：全体会議〉

回	開催日	内 容
第5回	2月15日	現在の進捗状況と報告
第6回	3月12日	現在の進捗状況と報告

〈新潟：企画部会〉

回	開催日	内 容
第8回	6月13日	担当分科会の企画会議と新聞広告の打合せ
第9回	8月2日	担当分科会の企画会議と新聞広告の打合せ
第10回	11月28日	現在の進捗状況と報告ならびに総合司会者の選出

上記他、各担当者の打合せ会合を随時開催した。

〈第32回全国経済同友会セミナー企画委員会〉

委員 吉田 至夫 代表幹事

委員 野沢 慎吾 副代表幹事

回	開催日	内 容
第1回	6月26日	委員長選任と第32回全国経済同友会セミナー 企画（案）について
第2回	8月28日	第31回全国経済同友会セミナー（栃木）収支決算見込みならびに 第32回全国経済同友会セミナー（新潟）企画（案）について
第3回	10月26日	第32回全国経済同友会セミナー（新潟）各分科会の企画（案）と 第33回全国経済同友会セミナー（土佐）企画（案）概要について

〈主要経済同友会事務局長会議〉

回	開催日	内 容
第1回	6月1日	第32回全国経済同友会セミナー（新潟）企画（案）について
第2回	9月19日	第32回全国経済同友会セミナー（新潟）企画（案）ならびに 第33回全国経済同友会セミナー（土佐）企画（案）概要について